ワーカーズ委員会の近況をお届けします

Newsletter



HELLO WORKERS' COLLECTIVE

生協ワーカーズ委員会

２０２６年度方針
1、ワーカーズとしてグリーンコープ運動を学び、率先していく。
2、ワーカーズとしてグリーンクラブ、生産者との出会いの場、学びの場を設けていく。
3、ワーカーズとして報告・相談・共有することを意識し、人間連帯できる委員会を目指します。

生協ワーカーズ委員会では、各部会の報告・各単協ワーカーズ連合会の報告を共有しながら違いを知り、声に出し寄り添いながら連帯する事を実感できるようになってきました。
ここ数年は、ワーカー不足についても悩み、各県の取り組みを参考にしながら進め、様々なチャレンジを共有できることは「ワーカーとして」の励みにもなります。また一社)ワーカーズ連合会理事会を受けて、生協ワーカーズ委員会として関わり「連合会の一員」である意識も深まってきていると思います。繋がりを元気に変えて、ワーカーズの仲間が増えるように進んでいき、色んなワーカーズ誕生を作っていきたいと思います。

福祉ワーカーズ委員会

２０２６年度は、福祉ワーカーズ委員会のメンバー構成が一新しました。昨年度までは、県代表を在宅ワーカーズが担っていましたが、各県のワーカーズ地域福祉推進会議に参加している福祉ワーカーズの中から代表を選出する方法へ変更になりました。

その県代表が、ワーカーズ連合会の理事と福祉ワーカーズ委員会のメンバーを務めています。よって、今年度の福祉ワーカーズ委員会の県代表は、在宅ワーカーズ５名、子育てワーカーズ２名、生活再生ワーカーズ２名、福祉用品ワーカーズ１名です。加えて、在宅ワーカーズ、配食ワーカーズ、子育てワーカーズ、生活再生ワーカーズの各部会長と委員長の計１５名で４週に１度の委員会を開催しています。

委員会では、ワーカーズ連合会理事会を受けての検討課題を始め、各部会の報告や仲間づくりについて、ワーカーズ地域福祉推進会議の報告共有を行っています。今年度から社会福祉法人グリーンコープに移管された、組合員の社福福祉委員会議事録も毎回資料にしています。グリーンコープの福祉政策から誕生したワーカーズという誇りを胸に、今後も活発で実りある委員会にしていきます。

共済ワーカーズ委員会

２０２６年度 加入ワーカーズ【団体７９団体】【ワーカー数3,８９８名】
２０２５年度 給付実績 ￥７,６４７,０００

昨年は、加入ワーカーズへの統計アンケートに協力いただき加入ワーカーズの様子が分かりました。互助会は、福利厚生の一つとして多くのワーカーズへの拠り所となるように広がってきています。率直に聞きたいこととしてワーカーの声が委員会でも扱われ、「今よりも、もっと」といった具合に双方の理解が進んできています。互助会は必要な人には欠かせないものとなり、申請したことのない人には不必要に思えるものかも知れません。ですが、「福利厚生を豊かにできるワーカーズになる」きっかけの一つになるはずです。自分が加入している互助会みらいの運営を確認しながら、お隣のワーカーズが加入できるように声をかけ「加入して良かった！互助会みらい」の輪が広がるように、委員会はそのような運営を心掛けていきます。

各々のワーカーズは自主運営ですが、グリーンコープ・ワーカーズ・コレクティブ連合会を形成して連帯しています。こちらのコードからワーカーズ・ホームページ「組織概要」をご覧いただけます。

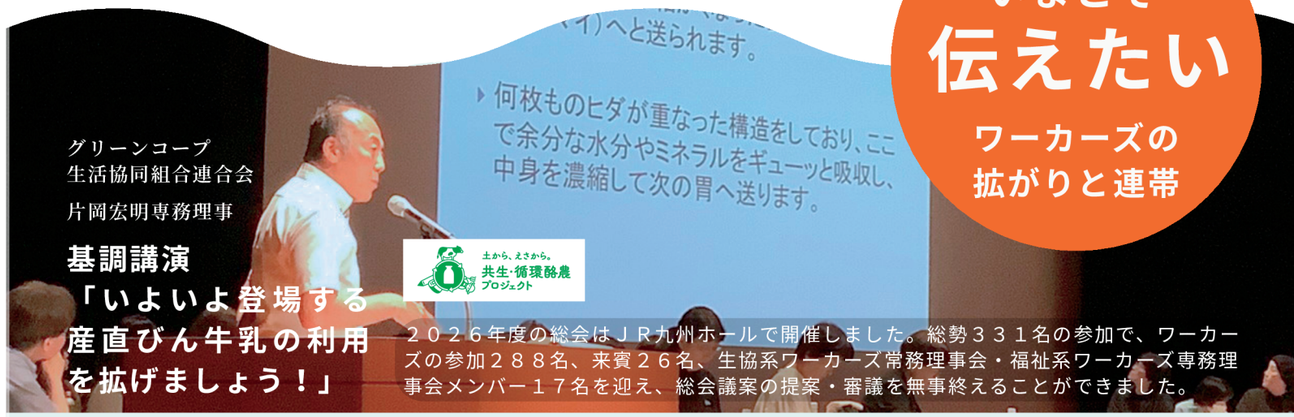
グリーンコープ・ワーカーズ連合会通信　発行責任：理事会

HELLO WORKERS' COLLECTIVE



2026年9月号
年２回発行
発行元：グリーンコープ・
ワーカーズ・コレクティブ連合会

ワーカーズ・コレクティブ連合会通信　vol.５



社会を支える新しい働き方
いまこそ
伝えたい
ワーカーズの
拡がりと連帯

グリーンコープ
生活協同組合連合会
片岡宏明専務理事
基調講演
「いよいよ登場する
産直びん牛乳の利用
を拡げましょう！」

２０２６年度の総会はＪＲ九州ホールで開催しました。総勢３３１名の参加で、ワーカーズの参加２８８名、来賓２６名、生協系ワーカーズ常務理事会・福祉系ワーカーズ専務理事会メンバー１７名を迎え、総会議案の提案・審議を無事終えることができました。

第八期通常社員総会報告

いろいろな課題を違う単協や産別が集まって
知恵を出し合い乗り越えようとしている

２０２６年6月２８日（日）　会場　ＪＲ九州ホール

式次第に沿って、社会情勢についての分析や２０２５年度の方針の総括、グリーンコープワーカーズ連合会の到達点と課題、生協ワーカーズ委員会報告、昼食を挟んで、福祉ワーカーズ委員会、共済ワーカーズ委員会、各部会の報告をし、審議・採決をいただきました。採決の結果は、下記を参照ください。

来賓挨拶は、グリーンクラブ松下会長、グリーンコープ共同体日高代表理事、社福グリーンコープ小林理事長から温かいご挨拶を頂きました。来賓の皆様には心からお礼を申し上げます。

基調講演は生協連合会の片岡専務理事にお願いし「いよいよ登場する産直びん牛乳の利用を拡げましょう！」を講演いただき、「ここまで出来たんだ。これからしっかり取り組んでいこうと改めて感じた」、「徹底したシステムやＧＣのもつ信念に大変感銘を受けました」などワーカーのみなさんよりたくさんの感動の声が届けられました。組合員、職員、ワーカーズの連帯が実感できる総会となりました。



また、今回は懇親会を別会場で行ないました。初めての試みでしたが来賓の皆様をはじめ、たくさんの方に参加いただき、心和む、楽しいひと時を過ごすことができました。

＊基調講演の内容については別冊でお届けしています

第八期通常社員総会　採決報告



総代議員数：２７２名（議長を除く） 有効代議員数：２５５名、
実参加：１８３名 書面議決提出数：７２名
第一号議案「第七期（２０２５年度）活動報告承認の件」 賛成２５４ 反対０ 保留１
第二号議案「第七期（２０２５年度）決算報告承認の件」 賛成２５４ 反対０ 保留１
第三号議案「第八期（２０２６年度）活動方針決定の件」 賛成２５３ 反対０ 保留２
第四号議案「第八期（２０２６年度）事業計画・予算決定の件」賛成２５３ 反対０ 保留２
第五号議案「役員選任の件」 賛成２５４ 反対０ 保留１
第六号議案「議案決議効力発生の件」 賛成２５３ 反対０ 保留２　　以上

Hello!!
NEWワーカーズ

～ またひとつ、笑顔でつながる仲間が増えました ～

仲間が増えるたび、できることも増えていく



HELLO WORKERS' COLLECTIVE

おおいたワーカーズ・コレクティブ連合会 ～２つのワーカーズ設立～



おはなとは・・・ハワイの言葉で【家族】【絆】そして同じ目的を持つ職場の仲間、親しい友人も『おはな』です。

昨年の１０月に設立総会を行い、早くも一年が経とうとしています。
今は配送のみのワーカーズですが、先輩ワーカーが配食やスーパー元気くんなどを取り組んでいるので、おはなもこれからいろいろな事にチャレンジしていこうと思っています。



どんどん湧くアイデアをワークに繋げカタチにするのが超たのしいです。『ファイト』

ファイト！💛みなさんこんにちは
活動組合員からワーカーズを立ち上げ、４カ月足らずの私たちはひよこです。
空飛ぶコンドルになれるよう～右翼に運動、左翼に事業を羽ばたかせ、
未来に向かい上を向いて前進していく所存です。
どんどん湧くアイデアをワークに繋げカタチにするのが超たのしいです。

ひろしま　ワーカーズ・コレクティブ連合会設立

異業種の壁を越えてより一層の連帯と発展を



このたび、異業種の壁を越えてより一層の連帯と発展を目指し、７月２５日（土）に設立総会を開催し、多くの皆さまのご支援とご協力のもと、無事に「ひろしまワーカーズコレクティブ連合会」をスタートすることができました。

これからは連合会として横のつながりを深め、情報や課題を共有し、互いに支え合いながら進めていきたいと考えています。まだスタートしたばかりの私たちですが、仲間とともに学びあい一歩ずつ歩みを進めながら、組合員に、そして地域に必要とされるワーカーズを目指していきます。
今後とも、「ひろしまワーカーズコレクティブ連合会」をよろしくお願いいたします。　（代表　藤野）

みやざきワーカーズ・コレクティブ連合会設立

一人ひとりが活き活きと明るく元気に働ける職場作りを

６月２０日に連合会を設立しました。
共同購入、キープ＆ショップ、組合員事務局の３ワーカーズで、それぞれの得意分野を活かし、グリーンコープを盛り上げていけるよう連携していきます。
一人ひとりが活き活きと明るく元気に働ける職場作りを皆で考えていきます。
（代表　手束）



くまもとワーカーズ地域福祉推進会議

悩みを共有し、知恵を出し合い、支え合う

２０２５年度に５つ(在宅・子育て２つ・配食・生活再生)の福祉系ワーカーズが集まり、地域福祉推進会議を立ち上げました。福祉系の事業に携わっていながらも、出会う機会が少なくお互いの事業のことをよく知らないということに気付き、１年目はお互いを知ることに重点を置き、交流会を開催しました。２年目はワーカーズが元気になる企画を各事業所に提案してもらい、選考会・社員総会でのプレゼン会を開き、実行に向けて地域福祉推進会議が経費や担い手のバックアップを予定しています。どの事業所もワーカーズの働き方や管理者・責任者としての立ち方に悩むこともありますが、会議の中で悩みを共有し、知恵を出し合い、支え合うことで、また明日から頑張ろうという力をもらえています。
（代表　古津）



生協　ワーカーズ委員会



２０２６年３月１７日(火)

ネッツフーズ株式会社 商品学習会開催

講師／ネッツフーズ吉村さん

「おいしいをカタチにします」自慢逸品勢揃いとして、この日はリアル開催にて念願であったネッツフーズさんより商品を通じながら添加物について学びました。
如何に私たちが日ごろから安心して食べられる商品を手にしているかを再確認する場となり、安いには理由がある！不要なものは使わない！このような組合員の声をメーカーとしても受け止め、同じ思いで努力をいただき作ってくださる意気込みに触れ、食卓登場の機会が増えた副菜たち。
常にある幸せを感じて今後も広めていきたいと思えた学習会でした。
（委員長　芝）

キープ＆ショップ　部会報告

２０２６年８月６日(木)

かあちゃんず視察

部会メンバー６名と事務局３名



広島市のワーカーズ「かあちゃんず」さんのキープ＆ショップ視察を行いました。昨年１０月にオープンした「かあちゃんず」はグリーンコープの食材で作った手作りお弁当やお惣菜が買える、ワーカーズの想いが詰まったキープ＆ショップです。
お店の入り口左手にはキープの受取ＢＯＸがあり、皆興味津々で中を見たり写真を撮ったりしました。店内は、レジ奥の深緑色のタイルやブルーのアクセントクロスがとても素敵で、さまざまなグリーンコープ商品が所狭しと並んでいました。奥には広々とした厨房が見えました。レジ前にはできたてのお弁当が並んでいました。ひときわ目を引く大きな卵焼き、レッドオニオンの酢漬けの赤や小松菜の煮浸しの緑など見た目にも鮮やかで食欲をそそられます。油淋鶏やエコシュリンプの大きなエビフライ、手の込んだコロッケや３日寝かせてから炊く酵素玄米など、こだわりの素材を使い、手間暇をかけて作られていました。部会の前にみんなでいただきましたが、一つ一つがとても美味しくて大満足のお弁当でした。視察中には、親子連れで来店され、お弁当を手に取る方の姿も見られました。幼稚園くらいのお子さんにかあちゃんずの松岡代表がフレンドリーに声をかけられ、自然と店内が和んでいく様子がとても印象的でした。商品だけでなく、人との温かなつながりも大切にされていることが伝わりました。



視察後はひろしま中央支部にて部会を行いました。普段はオンラインが中心ですが、顔を合わせて食事をしながら話すことで、いつも以上に深い意見交換ができ、有意義な時間となりました。
（部会長　田中）

福祉　ワーカーズ委員会

２０２６年7月２４日（金）

２０２６年度福祉ワーカーズ新人研修

講師／社福グリーンコープ　片岡専務
福祉ワーカーズ委員会　中野委員長

労働協同組合（ワーカーズ・コレクティブ）を学び、私の職場「社会福祉法人グリーンコープ」を知ることを目的に入職１年目のワーカーを対象に午前は全福祉ワーカー、午後は在宅福祉ワーカーでオンラインにて開催しました。１６７名の参加があった午前の報告をします。
グリーンコープが、なぜ地域福祉に取り組むのか？なぜ多種多様なワーカーズがいるのか？そもそもグリーンコープって？そんな関心を寄せるところから始まった研修。講師の社会福祉法人グリーンコープ片岡専務からは、グリーンコープと社会福祉法人グリーンコープの意義の話から、グリーンコープと出会うことにより自身が生きがいを持ち、人間らしく生き、労働を統合させることを目指すワーカーズとして、地域で職場をつくることへのお話が聞けました。また福祉ワーカーズ中野委員長からは、労働協同組合（ワーカーズ・コレクティブ）は、労働を媒介に人間が協同する組合で、働く人全員が出資し、経営に責任をもち、労働も担う働く人の協同組合で、自ら経営するしくみ。ただ働くだけの場所ではなく、夢や理想を持ち寄って、支え合いながら形にし、自分らしく生きながら、誰かの役に立つしくみのお話を聞きました。そして福祉系の各事業所動画では「オンライン視察」と題して、仲間が活き活きと働く姿に刺激を受けました。
グリーンコープの地域福祉は参加型地域福祉です。皆で話し合い・助け合いながら、自発的な労働で総合的な力を持つワーカーズ・コレクティブとして作り上げていきます。人とのつながりを大切に「お互いさま」「助け合い」の精神で仲間同士互いに励まし合って向上することを研修を通して学びました。自助・共助・公助を意識しながら、一人ひとりの力を寄せ合えば、より強固な一丸となります。継続は力です。自分らしく、仲間と励まし合いながら、さらなる飛躍を目指し歩んでいきましょう。
（部会長　黒田）

在宅ワーカーズ　部会報告





２０２６年7月８日(水)

ファイバーリサイクル運動学習会

講師／ゆうあい福岡　田原代表

ゆうあい福岡の田原代表を講師に「ファイバーリサイクル運動学習会」を実施しました。この運動の始まりから目的、支援してきたアル・カイールアカデミーの現在の様子、歴史を知ることで20年に渡って取り組んできたことの意味を理解することができました。特に皆の心に残ったのはムザヒル校長の「戦争を抑止しようとしたときは話し合えば解決できる。話し合えば分かり合えることを子どもたちに教えたい」という言葉で、その教育理念を継続支援することは世界平和にも繋がる活動であると思います。また「ショップは地域の人と人との絆を深める活動をするところ」は、まさにワーカーズが目指すところです。カーボンニュートラルにもつながるこの運動の意味を各ワーカーズに持ち帰り、今後ワーカーズでも取り組むことを考えていきたいです。
（部会長　野口）